

# ロフトランドクラッチ アンバーST-N ハーフ 取扱説明書

この度は、当杖をお買い求め下さいまして誠にありがとうございます。当杖は左用・右用がありますのでご注意ください。下記の取扱説明をお読みくださいまして、正しく御愛用くださいますようお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

★この取扱説明書は大切に保存してください。★

\*\*\*\*\*

## 【寸法調整の方法】

差し込みスナップピン式による高さ調整が可能です。握り高さと、肘受け高さを調整できます。

1. 支柱へ差し込まれた握り下方のスナップピンを両手親指を使い広げながら外し、伸展パイプを抜き差しして握りの高さ調整をし、スナップピンを差し込み固定します。同様に肘受けパイプ用のスナップピンを外して肘受け高さを調整し、スナップピンを差し込み固定します。
2. 希望の高さに調整したら、スナップピンが支柱側面からきちんと突出したことを確認します。

## 【正しい寸法の決め方】

- ◆ 当杖は左用・右用がありますのでご注意ください。
- ◆ 杖の先端が握り手と同じ側の足先 外前方約 20cm に置き、肘が 30～40 度屈曲した状態が適当な長さの目安です。
- ◆ 肘受けの長さは、肘関節の運動の邪魔にならない範囲で出来るだけ伸ばして使用してください。
- ◆ 正しい寸法については医師や、各種療法士等の専門アドバイザーの方にご指導を仰いでください。（図 A 参照）
- ◆ 肘受けが狭い場合、肘受けを軸と共に杖本体から抜き取り、約 80℃の熱湯に暫く浸け、肘受け樹脂を柔らかくして適当な大きさに広げ、広げた状態で冷水に浸ける等冷却し肘受けの形を固定させます。この作業をするときは、熱湯や熱くなった肘受けで火傷をしないように十分注意して作業してください。

## 【歩行方法】

正しい歩行方法については医師や、各種療法士等の専門アドバイザーの方にご指導を仰いでください。

## 【製品の規格】

※寸法規格は最下段寸法表示を参照してください。

## 【使用上の注意】 ⚠

- ◆ 当杖の使用が適当であるかを医師等の専門家により判断された方のみが使用できます。身体機能に適合しない無理な使用は転倒や身体の故障の原因になりますので、必ず専門家の判断により使用を決定してください。
- ◆ 上記【正しい寸法の決め方】を参考に身体に合った寸法で御使用ください。
- ◆ 不適当な寸法の杖を使用すると、正しく歩行できないばかりか、体に不都合が生じる場合が有りますので、歩行並びに取扱いには医師及び専門のアドバイザーの指導に従ってください。
- ◆ 握り部分はウレタンゴムの弾力ある素材で杖支柱に固定された握り芯に差し込まれていますので、微妙な動きがありますがクッション性のため発生するもので安心してご使用ください。しかしながら異常と思われるガタつきが有る場合は使用を中止してください。
- ◆ 使用前・使用中も差し込みスナップピンが支柱側面からきちんと突出していることを確認して歩行してください。
- ◆ その他、異常音や不都合が生じた場合は使用を直ちに中止して専門家に点検してもらってください。
- ◆ 先ゴムが破れたり摩耗したりしている場合は、サイズの合った新しい先ゴムと早めに交換してください。又、先ゴムはきちんと底まで差し込んで装着してください。
- ◆ 濡れたり凍結した床面・路面等滑りやすい場所での使用は、十分注意してください。
- ◆ 握りや肘受けは 60℃以上の温度で荷重が掛かると変形することがありますので夏場の自動車内に置いて直ぐの使用等にはご注意ください。又、暖房器具のそばに置かないこと。
- ◆ 用途以外（登山・護身用等）に使用しないでください。
- ◆ 長時間使用しない場合は、高温直射日光を避けて保管してください。
- ◆ 杖を倒すと衝撃で握りの前後の反射板が破損したり、外れたりすることがありますのでご注意ください。

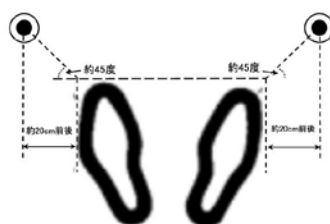
## 株式会社 赤 井

〒558-0011 大阪市住吉区菟田8丁目11番19号

お問い合わせ、御相談はお客様相談室 06-6608-0562

握り高さ：72～102cm 約 2.5cm 間隔  
肘受高さ：23～28cm  
重量：約 735g  
寸法規格の数値はロットにより多少前後します。  
材質 握り：ウレタン 支柱：アルミ軽合金  
交換用先ゴムの内径：19mm φ（要座金）

図 A





スナップピンの両側端を  
両手の親指で押し広げ  
るようにしてピンを押し出  
し抜き取ります。

